



「高向御頭神事」(伊勢市御園町高向)

800年の伝統を持つ国指定重要無形民俗文化財である祭りです。その起源は、養和年中(1181~1182)に飢饉や悪疫を祓い清めるため踊り舞ったこととされています。昼は「七起こしの舞」、夜は打祭といって、御頭揚げや斬祓の舞などが行われます。

(写真提供:伊勢市教育委員会)

目次・主な内容

■ 新年のご挨拶 (岡本会長)	2	■ 新年賀詞交換	14
■ 年頭所感 (榊原日本経団連会長)	3	■ 三重労働局 News	19
■ 新年挨拶 (三重県知事)	4	■ 委託事業 News	20
■ 年頭のご挨拶 (三重労働局長)	5	■ 事務局 News	21
■ 三重経協 News	6	■ 業務日誌	22



新年のご挨拶

三重県経営者協会

会長 岡本直之

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに麗しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当協会の事業活動につきまして、格別のご配慮を賜り、心よりお礼申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い致します。

昨年は一年を表す漢字に「税」が選ばれたように、消費税が経済に大きな影響を与えた一年でありました。増税前の駆け込み需要では、高額商品や住宅・自動車・家電など耐久消費財の売上げが増加しましたが、その後の反動減が想定以上に長引き、個人消費や企業の設備投資は低迷を続けました。

消費税の再増税が1年半延期され、年末には急な衆議院選挙が行われましたが、結果は与党の圧勝でアベノミクス継続が信任された形となりました。政府には一刻も早いデフレ脱却と、多くの国民が景気回復を実感できる経済対策を望むところであります。

このような状況の下、当協会では、昨年、伊藤恵子氏が女性として初めて副会長にご就任頂いたこともあり、アベノミクスの成長戦略にある女性の活躍を一層推進して参ります。具体的には「女性懇話会」の活動を強化し、様々な勉強会や視察会を開催します。人材育成に関しては、定着率向上を目的とした「新入社員フォロー研修」や法的知識の習得のための「弁護士による講座」を継続するとともに、「中間管理職講座」も内容の充実を図ります。今年も会員企業の皆様方にとって役立つ教育・研修事業を実施して参ります。

障がい者雇用については、労働局や県、連合三重と検討を進めてきた障がい者の「ステップアップ・カフェ」が昨年末、県総合文化センター内にオープンしました。この先進的な事業により、県民や県内企業の障がい者雇用への理解が高まり、雇用が一層拡大することを期待しており、当協会と致しましてもインターンシップの実施等を通じて、カフェで働く方々がステップアップして頂くように全面的に協力して参ります。

結びに、本年は未年です。「未（ひつじ）が来る」と書いて無限の可能性を持った「未来」であります。また、ひつじは群れで行動し温和な性格で、「家族円満」や「平和」の象徴と言われます。新年が皆様にとって、穏やかな年になるようご祈念申し上げますとともに、地域経済に貢献する総合経済団体として、人材育成、健全な労使関係の維持発展、産学官の連携等、様々な課題に取り組んで参る所存でありますので、会員の皆様方の更なるご理解とご協力を切にお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



－経団連会長新年メッセージ－

「豊かで活力ある国を再生する」

2015年1月1日

一般社団法人 日本経済団体連合会

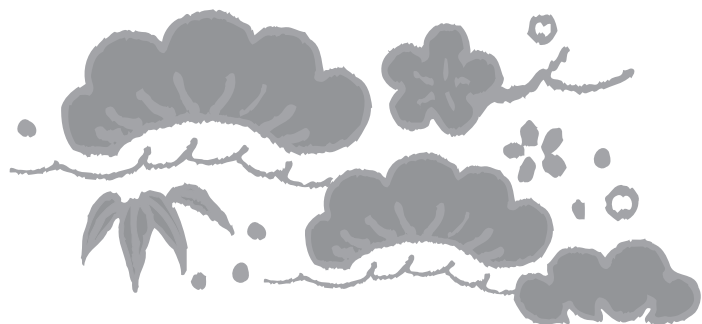
会長 桼 原定 征

アベノミクスは着実に成果を上げ、デフレからの脱却が視野に入りつつある。本年は、日本経済が本格的な成長軌道に復するか否かの正念場である。政府、企業、国民それぞれが、この機会を逃せば日本の再生はないとの危機意識を共有し、まさに国を挙げて、政策や手立てを総動員していかなければならない。

先の総選挙の結果は、国民がアベノミクスを初めとする安倍政権の政策を支持し、継続を求め、今後の成果に期待していることを示している。安倍政権には、引き続き経済再生を最優先に、震災復興の加速、規制改革、社会保障制度改革、法人税改革、エネルギーの安定供給と経済性の確保、地方創生、女性の活躍推進、TPPはじめ経済連携協定の推進など、山積する重要政策課題に全力で取り組んでいただきたい。財政健全化の道筋を改めて内外に明示することも不可欠である。経済界としても、企業収益の拡大を、設備投資や雇用の拡大、賃金の引き上げに繋げていくよう最大限の努力をする。

また、経団連は、変化の激しい難しい時代であるからこそ、中長期の日本を展望した国家ビジョンが必要であるとの問題意識から、2030年に向けて目指すべき国家像を描いた経団連ビジョン「『豊かで活力ある日本』の再生」を年頭に公表した。その中では、日本のあるべき姿として、「若者が日本国民であることに誇りを持ち、チャレンジ精神を発揮し、希望ある未来を切り拓いていける国」、「世界から信頼され、尊敬される国」を謳い、その実現に向けて、政府、企業、国民が取り組むべき課題を具体的に提案した。本年は、このビジョンで描いた経済・社会の実現に向けて、着実な一步を踏み出す年にしたいと考えている。

皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。





新年のご挨拶

三重県知事

鈴木 英 敬

新年明けましておめでとうございます。

三重県経営者協会会員の皆様におかれましては、県政の推進、とりわけ雇用経済行政の推進に格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、「人材こそが企業の発展の根源」という理念に基づき、活力ある地域経済社会の実現、企業の相互発展のために、三重県の総合経済団体として企業経営、人事労務の諸問題に取り組まれておりますことに、深く敬意を表します。

昨年は、三重県の民間企業における障がい者の実雇用率が一昨年に全国最下位となったことから、法定雇用率（2.0％）の早期達成を目指し、1年後の実雇用率を1.70％に引き上げることを目標とした「障がい者雇用率改善プラン」に関係者が一丸となって取り組んだ結果、昨年の実雇用率は1.79％（伸び率全国2位）と大幅な改善となりました。引き続き、障がい者の一般就労への移行、県民及び企業の障がい者就労への理解促進など、県民総参加で障がい者雇用の促進を図っていきます。

こうした中で、12月24日には、障がい者雇用を促進するための取り組みとして、貴協会にもご協力をいただき、ステップアップカフェ「Cotti菜」を三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」に開設いたしました。多くの方々に利用していただき、障がい者雇用への理解を深めていく場となることを期待しています。

また、先般、行政、企業及び関係団体等が連携し、障がい者雇用の着実な推進を図るため設立した「三重県障がい者雇用推進協議会」においても、引き続き貴協会のご支援ご協力をお願い申し上げます。

今後、企業・団体等が成長していくためには、「女性の力」を生かしていくことが必要であり、経営戦略として女性の活躍推進に取り組むことの重要性がますます高まっています。

同時に、女性の活躍推進に取り組むことは、男性の意識改革を促し、家庭における男女の役割分担や働き方の見直し、ワーク・ライフ・バランスの実現などにもつながるだけでなく、相乗的に経済や社会を活性化させるものであり、多様な働き方による継続就労や再就職への環境整備に取り組んでいく必要があると考えています。

貴協会をはじめ労使で設立された「三重労使雇用支援機構」等との連携により、雇用経済情勢に応じた対策を的確に推進するとともに、企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進や若年層の早期離職防止、セーフティネット機能の充実などに本年も取り組んでいきたいと考えていますので、県政の推進につきまして引き続き御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、三重県経営者協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

三重労働局

局長 川口 達三

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は三重労働局の行政運営に格別のご協力とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県内の雇用情勢につきましては、景気回復に向けた動きが徐々に拡大する中、消費税増税の駆け込み需要の反動もあり、一部に弱さが見られるものの、有効求人倍率は、19ヵ月連続して1倍台の高水準で推移するなど、企業の人手不足感を背景として、緩やかな改善の動きが継続していると判断しております。

しかしながら、労働環境を取り巻く状況といたしまして、労働相談件数は依然として高水準で推移しており、解雇や労働条件の引き下げなど権利救済を求めるものが減少傾向である一方、職場環境に関するもの、特に、いじめ・嫌がらせに関する相談が増加しています。

また、労働災害の発生につきましては、長期的には減少傾向にあり、昨年は死亡災害等が増加に転じたため、9～12月の間、「緊急労働災害防止対策要綱」を策定して、関係機関と連携・協力し労働災害の防止に取り組んだところです。

三重労働局といたしましては、「「全員参加の社会」の実現に向けた雇用改革・人材力の強化」を行政運営の基本方針の一つとして、少子高齢化を背景に労働力不足が懸念される中、女性労働者の積極的な活用を進めるためのポジティブ・アクションの取組推進や非正規雇用労働者である若者等の中長期的なキャリア形成の促進、障害者雇用の促進等を図っているところであります。

さらに、「安心して将来に希望を持って働くことのできる環境整備」をもう一つの基本方針として、過重労働解消に向けた労使の取り組みの促進や相談体制の確保を図るとともに、重点的な監督指導を行うほか、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に取り組んでいるところです。

職員一同、直面する各種課題にしっかり対処してまいる所存ではありますので、本年も引き続き、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会のご発展並びに会員の皆様方のご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

三重経協活動報告

三重県経営者協会女性懇話会・津商工会議所女性会合同県外視察会



京都労働局講演風景

10月16日（木）に三重県経営者協会女性懇話会と津商工会議所女性会で今回初めて、合同県外視察会（京都府）を開催致しました。これは、当協会女性懇話会の今年度の取組の中で、他の女性団体との連携を推進していく事を目的としており、その一環でもあります。当日の参加者は34名でありました。また、内容については次の通りです。



講演する和田京都
労働局雇用均等室長



講演する
森川京都労働局長



講演する足立京都府
府民生活部
男女共同参画課長

(1)京都労働局

①講演：「京都の女性労働について」

講師：京都労働局雇用均等室長 和田 秀美氏

②講演：「京都府内の労働事情について」

講師：京都労働局長 森川 善樹氏

③講演：「女性の活躍推進 ～京都府の取組について～」

講師：京都府府民生活部男女共同参画課長 足立 阿季子氏

(2)㈱村田製作所

①本社ホールにてチアリーディング部デモンストレーション

②人事部から会社概要説明

③本社A棟・B棟構内見学

④女性の活用状況説明



㈱村田製作所見学風景

(3)長岡天満宮参拝



長岡天満宮にて集合写真



㈱村田製作所にて集合写真

※(株)村田製作所様は、2008年「くるみん」を認定され、企業として意欲のある従業員が出産・育児・介護といった家庭での務めを果たしつつ、仕事においても活躍し成果を挙げることができる職場環境が整えられています。また、男性にも「配偶者出産休暇」を5日設定し、育児休暇取得促進が行われています。このような女性が働きやすい職場環境を構築している企業の先進事例を見聞し、両団体の今後の取組に活かすことを目的とします。

※ロボットによる「チアリーディング部」が結成され、この日は結成後、初めて社外の方にお披露目されました。参加者からは、大変喜ばれ、皆さん写真をたくさん撮っており、その後の本社見学もあまりのスケールに驚愕されておりました。



チアリーディング部デモンストレーション

女性懇話会役員会

12月24日（水）にフレンテみえ特別会議室にて女性懇話会役員会を開催致しました。伊藤代表（伊藤印刷(株)）の挨拶に続いて会議が行われ、来年の活動内容・スケジュール案が事務局より説明があり、スケジュール案が承認されました。当日は8名の参加者でありました。

今回の役員会は、三重県、経営者協会、連合三重等が進めて参りました、障がい者雇用を推進する新たな取組として、ステップアップカフェ「Cotti菜」がオープンとなり、女性懇話会役員としても障がい者雇用への理解と関心を持って頂く為、会議と合わせてオープニングイベントにも参加頂きました。



女性懇話会役員会風景



オープニングイベント風景



オープニングイベントテープカット風景

労務管理改善協力委員会(10月第2部会活動報告)

10月23日(木)プラザ洞津「紅葉の間」において、労務管理改善協力委員会10月第2部会を開催致しました。今回は、第20期最初の部会であり、33名の参加者で開催致しました。

水野第2部会長(三重グリコ株)の挨拶に続いて、講演が行われました。今回のテーマは「メンタルヘルス対策について」と題して行い、近年、職場におけるメンタルヘルス不調者が増加しており、参加者の皆さんも非常に関心がありました。また、講師の菅田先生におかれましては、メンタルヘルス対策に精通されており、企業・従業員両方から相談を受けておられ、実際に関わった事例も踏まえながら講演して頂きました。

◆プログラム

講演：「メンタルヘルス対策について」

講師：グッドライフ設計塾 代表 菅田 芳恵氏(特定社会保険労務士・産業カウンセラー)

内容：①職場のメンタルヘルスの現状

- ②企業が背負うリスクと対策の必要性
- ③労災の「職場における心理的負荷評価表」について
- ④ストレスの基礎知識
- ⑤メンタルヘルスの基礎知識
- ⑥メンタルヘルス不調が職場に及ぼす影響
- ⑦メンタルヘルス不調者への対応
- ⑧管理監督者が注意すべきこと
- ⑨メンタルヘルス対策に関連する法令と会社の義務
- ⑩安全配慮義務とは

「ケーススタディ」 グループに分かれてケーススタディを討議



挨拶する水野第2部会長



講演する菅田講師



ケーススタディ風景

労務管理改善協力委員会(11月第1部会活動報告)

11月25日(火)プラザ洞津「紅葉の間」において、労務管理改善協力委員会11月第1部会を24名の参加者で開催致しました。

川添第1部会長(上野キヤノンマテリアル株)の挨拶に続いて、講演が行われました。今回は、2部形式に分けて開催し、前半は「内定辞退防止のポイント」と題して、実際に平野講師が作成されている、新卒採用通信の話を踏まえながら、事例等もお話頂きました。後半は、「入社後の職場定着」についてロジカル的に説明され、途中、社歌を作成し、オリジナルDVDを作成された自動車販売会社のDVDを視聴し、定着率を上げる参考になりました。



挨拶する川添第1部会長



講演する平野講師

◆プログラム

第1部

講演：「内定辞退防止のポイント」

講師：株式会社アドプランナー コンサルタント事業部

採用コンサルタント／キャリアカウンセラー

平野 真理子氏(JCDA認定CDA)

内容：①採用環境変化に伴う16卒において、内定辞退を防止するための秘訣とは？

②今からできる15卒生向けの対策とは？

第2部

講演：「入社後の職場定着」

講師：株式会社アドプランナー コンサルタント事業部 増山 勝之氏(MBA取得)

内容：①定着率と就労意欲の関係 ②就労意欲を高める職場とは？

③モチベーションを引き出す原理原則とは？



講演する増山講師



労管第1部会風景

中部経協三県連携事業

新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」

11月7日（金）プラザ洞津「菖蒲の間」において、新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」を19名で開催致しました。

講師は前回に続き㈱ソ・ラボ代表取締役の山田 将史氏を講師にお迎えし、前半は、前回の振り返りを行い、傾聴力・発信力について学びました。2人一組となり、与えられた文章をいかに相手に伝えられるかを実践致しました。

その後、「予算獲得ゲーム」を4つのグループに分かれて行いました。これは、ある大学で毎年、春の文化祭で開催されるゲームで、大学から1つのクラブ・同好会に100万円が支給されるというものです。10のクラブ・同好会の代表が集まって、各代表が予算を獲得するというゲームです。また、後半は、「戦略方陣ゲーム」として、4グループに分かれて、不動産会社として社長・経理部長・営業部長・総務部長に分けて、与えられた土地を有効活用して利益に繋げるゲームです。

参加者の皆さんは、前半は中だるみが見られており、自ら発言・発表が出来ていなかったのですが、講師の指示により徐々に自ら発言・発表するようになり、今回の狙いのチーム力を出してゲームに挑んでいました。

■研修の目的

- ①発信力
- ②傾聴力
- ③柔軟性
- ④状況把握力
- ⑤規律性
- ⑥ストレスコントロール

ルール

- ・礼儀礼節を守る
- ・時間厳守
- ・反応する（聴く、姿勢）
- ・全員で助け合う

今日を素晴らしい1日にするために

- ・積極的に！「今・ここ・自分」→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること！
- ・メモをする
- ・シェア（共有）する



講義する山田講師



傾聴トレーニング風景



予算獲得ゲーム風景



中部経協三県連携事業

第3回新任管理職・中間管理職講座 「管理職ビジネスゲーム(会社の仕組みを理解する)講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～



講義する下田講師

11月19日（水）プラザ洞津「紅葉の間」において、第3回新任管理職・中間管理職講座「管理職ビジネスゲーム（会社の仕組みを理解する）講座」を18名で開催致しました。

今回より講師が(株)プロカレント 代表取締役 下田 浩貴氏に変更となりました。1、2回の講座とは異なり、3、4回はロジカル的な内容で、ビジネスゲームを取り入れた形式で行われます。

午前中はマーケティング、企業経営と会計の役割を中心に講義が行われ、午後からは、5グループに分かれてビジネスゲームを行いました。

今回のゲームは脱サラし、フランチャイズ形式のラーメンチェーンに加盟することになり、前経営者から店舗、社員、アルバイト、在庫等を引き継ぎ、各グループ別に収支を開店から3ヶ月を競い合うゲームであります。その中で、社長を決めて、市場の予測、販売目標の決定、目標売上、広告費の決定、アルバイトの人員配置、材料の発注、在庫等を全て予測していきます。

普段の業務ではなかなか実際にそれら全てを考えることが無い中で、皆さん真剣に考えながら行っていました。経営者の補佐を行う役割の管理職にとって、重要な会社の利益を確保するにはどうしたら良いかを学んで頂きました。

■主なプログラム

- ・会社の使命、目的
- ・会社を存続させるためには？
- ・会社を成長、発展させるためには？
- ・ビジネスゲーム



討議風景



講座風景



第12回三重経協海外経済・労働事情視察

スペインの経済・労働事情視察 2014年10月26日(日)～11月2日(日)・6泊8日

第12回三重経協海外経済・労働事情視察団(団長：岡本直之三重経協会長)一行27名は、10月26日から11月2日までの8日間、2007年からの経済危機脱却に向け、特に2012年及び2013年度には金融改革、労働市場改革などの構造改革を積極的に行い、ようやくこの経済危機から立ち直りつつあるスペインを訪問し、当地の労働・経済・社会情勢並びに雇用対策等について視察研修を行って参りました。

今回は、岡本会長のご尽力により民間団体ではなかなか行けない「在スペイン日本大使公邸」を訪問し、盛大な歓迎を受けました。更に400年前に伊達政宗が家臣の支倉常長をイスパニア(スペイン)とローマへ派遣した「慶長遣欧使節団」の子孫とされる「ハボン性の皆さんとの交流」、並びに記念植樹(桜の木)を行い、この内容は中日新聞等(下記掲載)に掲載されました。



在スペイン日本大使公邸ロビーにて



平成26年10月31日付 中日新聞

現地では4人の方の講演会も行いハードな視察スケジュールではありましたが、幸運にも新幹線車内(AVE)でレアル・マドリッドのセルヒオ・ラモス選手との遭遇もあり、非常に有意義かつ充実した視察となりました。

なお、詳細につきましては別冊「第12回三重経協海外経済・労働事情視察報告書」(平成27年1月発行予定)を配布致しますのでご覧頂きますようお願い致します。



アギーレ・デ・カルセル氏(スペイン外務省)
小原 京子氏ご夫妻



元近鉄インターナショナルスペイン
副社長 武田 修氏



近鉄インターナショナルスペイン
コーディネーター 河田 美恵子氏

第16回経協コンペ

10月3日（金）三重カンツリークラブにおいて、第16回経協コンペが開催されました。当日は曇り空の天候でありました。

23名（IN 3組・OUT 3組）が参加され、熱戦の結果、優勝者は川北 一之氏（川北F P事務所代表）に決まり、稲葉副会長より優勝トロフィー並びに優勝賞品が授与されました。

今回は、初参加の方も見え、皆さんプレーをしながら懇親を深められました。



経協コンペ参加者メンバー



優勝賞品を稲葉副会長(右)より授与される川北氏(左)

【順位表】

順位	氏名	会社名・職名	GROSS	H'CP	NET
優勝	川北 一之	川北F P事務所 代表	79	7.2	71.8
準優勝	服部 忠勝	(株)三重カンツリークラブ 常務取締役	93	20.4	72.6
第3位	井田 光昭	(株)三交ドライビングスクール 代表取締役社長	94	20.4	73.6
第4位	江見 元晴	(株)三交コミュニティ 取締役経営企画部長	87	13.2	73.8
第5位	大川 智弘	(株)三交イン 代表取締役社長	85	10.8	74.2

※同スコアの場合、年長者を上位とする。

専門家派遣・相談等支援事業「人事労務管理セミナー」

11月13日（木）プラザ洞津にて、三重労働局委託事業専門家派遣・相談等支援事業主催の人事労務管理セミナーを89名の参加者で開催致しました。

第1部は改正労働安全衛生法の概要についてと題して、三重労働局労働基準部健康安全課長の伊藤 彰則氏が講演し、第2部は、特配休暇の勧めと題して、元労働基準監督署長の平川 和宏氏が講演し、第3部は、トータル人事管理のすすめ ～成果を出せる人材づくりのポイント～と題して(株)百五経済研究所 経営コンサルティング部部長兼主席研究員の大地 勉氏よりご講演頂きました。

大変参加者には興味のあるセミナーでした。



講演する伊藤氏



講演する平川氏



講演する大地氏



人事労務管理セミナー風景

インターンシップ事後研修会



グループディスカッション発表風景


講演する(株)三重銀行
鶴岡人事課長

10月18日（土）プラザ洞津2階「飛翔の間」にてインターンシップ事後研修会が開催されました。当日は今年インターンシップを体験した学生を中心に、114名の参加がありました。

年々参加者が多くなり、昨年の1.5倍以上の参加者であり、関心が高まっていることが感じられました。最初に、「インターンシップ受入れに当たって及び就職活動の留意点」をテーマに、(株)三重銀行人事部人事課長の鶴岡 靖史氏よりご講演頂

きました。鶴岡課長ご自身の経験も踏まえながらご講演して頂き、学生は真剣なまなざしで講演を聴き、ポイント、ポイントでメモを取る学生の姿が印象的でした。

続いて「インターンシップ経験を就職に活かす～自分の強みを伸ばし、納得内定へ～」と題して、(有)トーカイマネジメントアソシエイツ インストラクター 吉井 優貴氏から、大学で就職支援に携わってきたプロの立場から様々なアドバイスを頂きました。その後のグループディスカッションでは、A～Pテーブル（16テーブル）のグループ（1テーブル6～7名）としてグループディスカッションを行いました。最初にグループ内で自己紹介を行い、続いて「企業にとって必要な人材とは」をテーマに、学生達によるグループディスカッションが始まりました。

白熱した討論の後、討議結果をまとめた内容をグループの代表が発表し、全グループからどのグループが良かったかを当日参加されていた各大学のキャリアセンターの職員の方々の得票により決定され、吉井氏から優勝グループに優勝商品が渡された後、総評が述べられました。学生たちの熱気の残る中、インターンシップ事後研修会が閉会しました。



講演する吉井氏



事後研修会風景

年末調整実務セミナー

11月21日（金）プラザ洞津「桐の間」において、「年末調整実務セミナー」を開催致しました。当日は20名の参加があり、講師の今井 富久翁税理士から2部形式に分けて講習が行われました。

今年度よりパワーポイントを使用して講習が進められ、第1部として、初めて担当される方も参加されていた為、年末調整とは何かを説明され、その後、手順と例に基づいて計算が行われました。続いて、第2部は

「年末調整Q & A」を想定される質問を書かれたテキストをもとに解説し、その時々参加者の質問にも丁寧に分かりやすく説明されました。閉会后、個別相談を実施し、多くの参加者が質問され好評のうちに終了しました。



講演する今井講師



年末調整実務セミナー風景

あけまして おめでとう ございます。

2015

三重県経営者協会

会 長	岡 本 直 之
副 会 長	稲 葉 邦 成
副 会 長	浅 田 剛 夫
副 会 長	内 田 淳 正
副 会 長	小 川 謙 治
副 会 長	渡 辺 友 治
副 会 長	川 村 則 之
副 会 長	伊 藤 恵 子
副 会 長	伊 原 千 秋
専 務 理 事	西 場 康 弘

(50音順)

 株式会社
R&E コンサルタント
経営と労務・福祉・IT・人材育成
代表取締役 小 林 吉 光

アミカン株式会社
東洋工業株式会社
代表取締役 伊 藤 勘 作

旭鍍金株式会社
代表取締役社長 藤 川 勝 彦
TEL 059-234-9555

ISO27001・M-EMS認証取得工場
印刷のプロフェッショナル
 株式会社 **伊 勢 出 版**
代表取締役 玉 井 信 吾

フィッシング遊 
アサヒレジャー株式会社
代表取締役社長 上 野 精 一

 **伊勢新聞社**
代表取締役社長 小 林 千 三

〒514-0031 津市北丸之内20
株式会社 朝 日 屋
代表取締役 香 田 佳 永

伊勢赤十字病院
病院長 村 林 紘 二

ISO27001 情報管理国際認証取得  総合印刷・出版 伊藤印刷株式会社 代表取締役 伊藤 誠司	 MIYAKO HOTELS 四日市都ホテル 株式会社 近鉄ホテルシステムズ 総支配人 村上 正浩
今村会計事務所 所長・税理士 今村 元宣	 ふれあい・たいせつに きゅう-とら 代表取締役 清水 秀隆
人を取り巻く全ての予防衛生を支援します 株式会社 イムテス 代表取締役会長 小林 眞一郎 代表取締役社長 山口 久美	 農業屋 クラギ株式会社 代表取締役 竹内 秀樹
おいしい! の笑顔をつくる  井村屋グループ株式会社 代表取締役会長(GEO) 浅田 剛夫 代表取締役社長(COO) 寺家 正昭	 学校法人 皇學館 皇學館大学 皇學館高等学校・皇學館中学校 理事長 佐古 一洸
CS(顧客満足)の向上と人材育成 有限会社 エム・アル・シー 代表取締役 足坂 三長 取締役 井ノ口 美津子	御在所  GOZAISHO ROPEWAY ロープウェイ 取締役社長 辻 孝巳
創業30年 ～ありがとうございます～ ～まごころこめて～製造・物流サポートします  オーユース株式会社 代表取締役 木下 隆生	人と環境を大切にする 技術開発型企业 ―当社は専用工作機械及び金型部品メーカーです― 株式 会社 小林機械製作所
冷凍／空調／電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の 有限 会社 奥田冷機 代表取締役 奥田 幸広	三交興業株式会社 名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン 取締役社長 脊 古 彰 生
 株式 会社 おやつカンパニー 代表取締役社長 松田 好旦	安全・安心・快適 株式会社 三交タクシー 取締役社長 山谷 行雄

 株式会社三交ドライビングスクール 四日市自動車学校 名四自動車学校 取締役社長 井 田 光 昭	株式会社 ZTV 取締役社長 田 村 憲 司
三交不動産株式会社 取締役社長 森 口 文 生	セキュリティコスト削減 お任せください (株)セフティージャパン 代表取締役社長 加 藤 智
 JINZAI IKUSEI CENTER 特定非営利活動法人 人材育成センター 理事長 平 塚 秀 敏	助成金・就業規則承ります。 総合経営労務センター 田中克己特定社会保険労務士事務所 TEL: 059-222-1198 FAX: 059-222-2918
新生サポート株式会社 代表取締役 清 本 健一郎	 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 三重支店長 境 徹 TEL 059-226-1800
 響いてこそ技術 シンフォニアテクノロジー 執行役員 伊勢製作所長 三 木 利 夫 ((旧)神鋼電機より社名変更致しました)	限りある資源を大切に 中部ドラム罐工業株式会社 代表取締役社長 石 津 英 尚
 SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE 鈴鹿医療科学大学 理事長 高 木 純 一 学 長 豊 田 長 康	にぎわいと活力のあるまちづくりを推進します  津商工会議所 会 頭 岡 本 直 之
学校法人 享栄学園 鈴鹿国際大学 学長 市野 聖 治 鈴鹿短期大学 学長 出雲 敏彦	テンプスタッフ・ピープル株式会社 津オフィス 代表取締役社長 日比野 三吉彦
 sensin 社会福祉法人 洗心福祉会 理事長 山田 俊郎	TOSHIBA Leading Innovation >>> 株式会社 東芝 セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場 工場長 渡辺 友治

東邦液化ガス株式会社三重支店 支店長 寺 本 勝 治	日本トランスシティ株式会社 代表取締役会長 小 林 長 久
快適以上を、世の中へ。 TOENEC 中部電力グループ 株式会社 トーエネック 三重支店 執行役員支店長 安 川 勤	公立学校共済組合津宿泊所 プラザ 洞 津 支配人 鎌 田 敏 明 TEL 059-227-3291
有限会社 トーカイマネジメント アソシエイツ 代表取締役 吉 井 清 二	日東カストディアル・サービス株式会社 三重営業所 所 長 増 井 隆 志
 湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル 代表取締役社長 伊 比 昌 弘	 百五銀行 取締役頭取 上 田 豪 FRONTIER BANKING
子どもたちが安心、安全に暮らせる 地域社会の実現に向けて・・・  特定非営利活動法人 どんぐりの会 理事長 木 崎 芙 美	株式会社 松阪カントリークラブ 取締役社長 岡 本 直 之 TEL:0598-29-2911
ナガシマリゾート 長島観光開発株式会社 取締役 稲 葉 邦 成	MCC CORPORATION 株式会社 松阪鉄工所 代表取締役社長 加 藤 賢 治
中辻医科器械株式会社 代表取締役 三 宅 克 治	三重いすゞ自動車株式会社 代表取締役社長 川 村 則 之
 21世紀のエネルギーを考える会・みえ 会 長 小 菅 弘 正 津市栄町3丁目248番地 きりんセカンドビル302号 TEL 059-229-3790	〈昭35.10.開場〉  株式会社 三重カントリークラブ 取締役社長 飯 田 爾

「三重から世界へ」!! 信頼される製品づくりに努めています。 三重金属工業株式会社 代表取締役社長 西 本 正	又次は五重と未来の子供にちん 三重トヨペット株式会社 取締役社長 川 喜 田 久 TEL059 (227) 7171 (代表)
「快適なタクシー」  三重近鉄タクシー株式会社 代表取締役社長 松野 展之	セキュリティのトップメーカー 美和ロックは「安全」と「安心」を創造お届けしています。  MIWA 美和ロック株式会社
三重県観光開発株式会社 取締役社長 宮 脇 栄 治	地域の安全と快適を約束する 警備事業・バス事業 (名阪交通バス) 株式会社 メイハン 代表取締役 田 畑 博
がんばる企業を応援します!  三重県信用保証協会 ホームページアドレス http://www.cgc-mie.or.jp/	安田小児科内科 理事長 安 田 尚 樹 TEL:0598-28-8828
三重交通株式会社 取締役社長 雲 井 敬	 株式会社 安永 Yasunaga 代表取締役社長 安 永 暁 俊
三重交通商事株式会社 取締役社長 牧 田 孝	消防防災で安全安心を創る 株式会社 山 口 商 会 代表取締役社長 山 口 久 彦
地域に根ざし世界に誇れる  国立大学法人 三 重 大 学 学 長 内 田 淳 正	トップレベルの環境貢献企業を目指す 横浜ゴム株式会社 三重工場 工場長 高 木 誠 TEL:0596-28-3151 
三重テレビ放送株式会社 代表取締役社長 志 田 行 弘 TEL:059-226-1133	三重県経営者協会 職 員 一 同

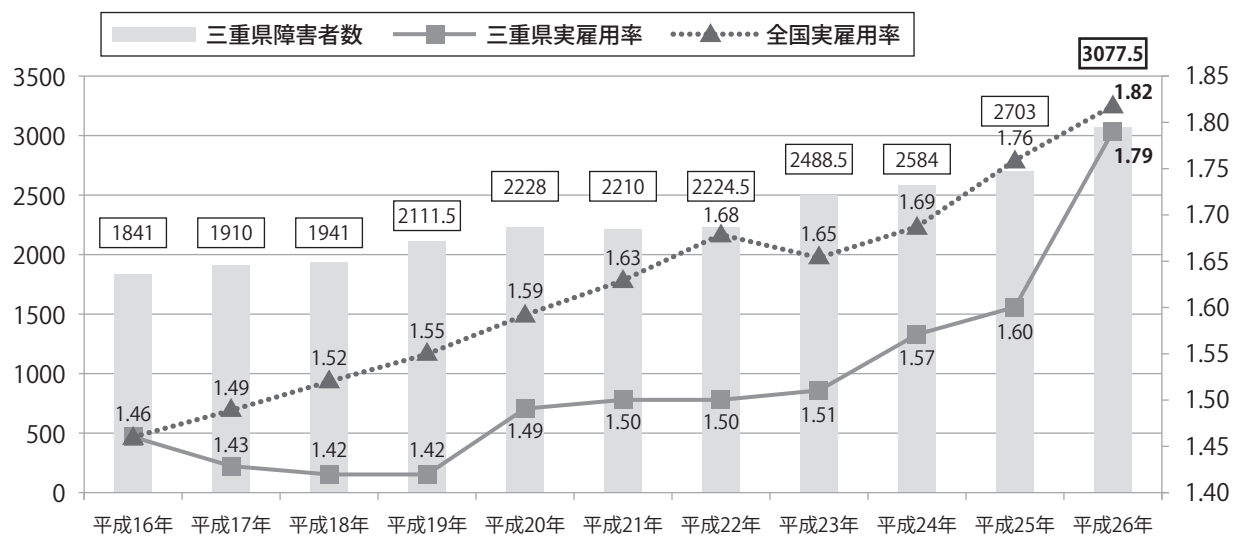
三重県内企業の平成26年「障害者及び高年齢者」の雇用状況

障害者

障害者雇用促進法では、事業主に対し、常時雇用する従業員の一定割合（法定雇用率、民間企業の場合は2.0%）以上の障害者を雇うことを義務付けており、今回の集計結果は、同法に基づき、毎年6月1日現在の身体障害者、知的障害者、精神障害者の雇用状況について、障害者の雇用義務のある事業主などに報告を求めています。

○三重県内の民間企業における障害者実雇用率は1.79%（全国平均：1.82%）

○法定雇用率達成企業の割合は52.2%（全国平均：44.7%）



高年齢者

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」では65歳までの安定した雇用を確保するため、企業に「定年の廃止」や「定年の引上げ」、「継続雇用制度の導入」のいずれかの措置（高年齢者雇用確保措置）を講じるよう義務付け、毎年6月1日現在の高年齢者の雇用状況の報告を求めています。

今回の集計結果は、この雇用状況を報告した従業員31人以上の企業1,897社の状況をまとめたものです。なお、この集計では、従業員31人～300人規模を「中小企業」、301人以上規模を「大企業」としています。

【集計結果の主なポイント】

1 高年齢者雇用確保措置の実施状況

高年齢者雇用確保措置を「実施済み」の企業の割合は99.8%（全国平均：98.1%）

中小企業は 99.8% 大企業は 100.0%

2 希望者全員が65歳以上まで働ける企業は増加

○希望者全員が65歳以上まで働ける企業の割合は78.0%（全国平均：71.0%）

中小企業：80.0% 大企業：51.1%

○70歳以上まで働ける企業の割合は23.1%（全国平均19.0%）

中小企業：24.0% 大企業：11.5%

3 定年到達者に占める継続雇用者の割合

過去1年間の60歳定年企業における定年到達者（2,889人）のうち、継続雇用された人は2,361人（81.7%）、継続雇用を希望しない定年退職者は527人（18.2%）、継続雇用を希望したが継続雇用されなかった人は1人（0.0%）

詳しくは、三重労働局のホームページ(<http://mie-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>)をご覧ください。

三重労働局委託事業

「専門家派遣・相談等支援事業」 をご利用ください！

対応内容

給与制度・給与体系を見直したいのですが…

販路拡大の方法について知りたいのですが…

業務改善助成金の適用申請をしたいのですが…

もう少し生産効率を上げたいのですが…

就業規則をしっかりとしたものにしたいたのですが…

その他
経営・労務に関すること…

無料

相談窓口はこちら

三重県最低賃金総合相談支援センター

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F 三重県経営者協会内

TEL.059-226-0033 <http://miekeikyo.jp/>

開設日は、原則、土・日・祝祭日を除く平日とします。なお、出張相談を四日市、伊勢において月5日、尾鷲において月4日開設しています。詳しくは、三重県経営者協会のホームページをご確認ください。

三重県委託事業

「仕事と家庭が両立できる 職場づくり支援事業」

仕事と家庭が両立できる職場を作ることで従業員の満足度を上げ、優秀な人材の確保や従業員のやる気につなげ、結果として生産性や職場定着率の向上を実現したい企業の取り組みを支援する事業を行っています。

現在三重県下の中小企業、小規模企業の中から支援企業9社に対し、それぞれの課題に応じた支援活動を行っています

活動の一例

- 古い業務体質を改善し、残業の削減やコミュニケーション作りを行い、従業員の満足度を向上するために他企業の取り組みを参考にしながら、経営者サイドと組合代表をまじえて検討会を行っています。
- 各工場の女性総務担当者による検討委員会を設置し、職場改善、育児・介護休業制度の周知等を促進するための検討会議を月1回行っています。
- 育児・介護等制度や市町の子育て支援の案内を従業員に分かりやすく周知するためのオリジナルリーフレットやインフォメーションの作成を支援しています。
- 次世代育成認定マーク(愛称:くるみん)取得のための情報提供及び一般事業主行動計画の作成を支援しています。
- 今後、予想される介護休業者の増加に対応するため、特定社会保険労務士を派遣し、制度を見直し、育児・介護休業制度等を盛り込んだ就業規則の作成を支援しています。

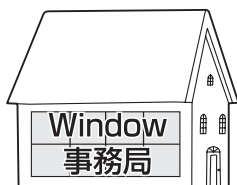
支援対象企業:三重県内に本社を置く「中小企業」「小規模企業」

お問い合わせ先

三重労使雇用支援機構 仕事と家庭が両立できる職場づくり支援事業

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3階

TEL:059-228-3557 FAX:059-228-3710 担当:村山・山際・中村



新会員の紹介

社会福祉法人 洗心福祉会

事業内容 社会福祉事業

代表者 経営企画部長 山田 純太

所在地 津市本町 26 - 13

電話 059-222-7700

FAX 059-222-7701

ホームページ <http://www.sensin.or.jp/>



新規会員のご紹介を お願いします

三重県経営者協会は（一社）日本経済団体連合会の地方組織として、県内企業の発展と地域社会に貢献し、グローバルな時代に対応した会員へのサービスの向上を行っております。



今年度も当協会の一層の発展のために、組織の拡大を目指しておりますので、ご入会いただける企業等のご紹介を会員皆様をお願い致します。

ご一報いただきましたら速やかに訪問し、ご説明をさせていただきます。

担当：会員サービス担当 中村 和仁
電話 (059 - 228 - 3557・3679)
E-mail info@miekeikyo.jp

れんらく・つうしん

中部経協三県連携事業

新任管理職・中間管理職講座 第4回「管理職ロジカルシンキング (論理思考)の基本 『考える』ための基礎知識講座」

～グローバル時代に求められる
ビジネスパーソン像と管理職の育成～

日 時：平成27年2月19日(木)
10:00～16:30
場 所：プラザ洞津 3階 紅葉の間
津市新町1-6-28
(津新町駅下車西へ徒歩3分)
Tel 059-227-3291
講 師：(株)ヒューマンブレイン
ブレインスタッフ 下田 浩貴 氏
受講料：会員会社1名につき 12,000円
(テキスト代含む)
非会員会社1名につき 20,000円
(テキスト代含む)

新入社員フォロー研修 第3回「2年目社員へのステップアップ」

日 時：平成27年3月6日(金)
10:00～16:30
場 所：プラザ洞津 3階 紅葉の間
津市新町1-6-28
(津新町駅下車西へ徒歩3分)
Tel 059-227-3291
講 師：(株)ソ・ラボ
代表取締役 山田 将史 氏
受講料：会員会社1名につき 15,000円
(テキスト代含む)
非会員会社1名につき 20,000円
(テキスト代含む)



※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材
送出
企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業

産業雇用
安定センター
三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業どうしの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材
受入
企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌
2014・10・12

事業名	とき	ところ
第16回経協コンベ	10/ 3(金)	三重カンツリークラブ
三重県経営者協会女性懇話会・津商工会議所女性会合同県外視察会	10/16(木)	京都労働局、(株)村田製作所、長岡天満宮
インターンシップ事後研修会	10/18(土)	プラザ洞津
労務管理改善協力委員会 第2部会	10/23(木)	プラザ洞津
第12回三重経協海外経済・労働事情視察	10/26(日)～11/2(日)	スペイン
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修 第2回「チームワークを大事にする新人育成」	11/ 7(金)	プラザ洞津
専門家派遣・相談等支援事業「人事労務管理セミナー」	11/13(木)	プラザ洞津
中部経協三県連携事業 中間管理職講座 第3回新任管理職・中間管理職講座「管理職ビジネスゲーム(会社の仕組みを理解する)講座」	11/19(水)	プラザ洞津
年末調整実務セミナー	11/21(金)	プラザ洞津
労務管理改善協力委員会 第1部会	11/25(火)	プラザ洞津
女性懇話会役員会	12/24(水)	フレンティみえ特別会議室



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

平成27年1月25日 発行
発行人／三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F